

第4委員会

地元の文化を通したつながり

～芸術と文化を次の世代へ!～

委員長	山岸	美心（龍谷富山高校）
副委員長	鶴見	依奈（富山第一高校）
	上里	優音（滑川高校）
	高柳	怜空（八尾高校）
	寺西	結麻（富山北部高校）

石川	佳奈（雄峰高校）
若林	沙英（小杉高校）
馬場	千英（砺波工業高校）

1 芸術文化振興の意義

文化芸術は

- 楽しさや感動、心の安らぎを与え、人生を豊かにする
- 創造力や感性を育て、他人を大切にしながら一緒に生きる力を養う

➡ ウェルビーイング向上につながる



2 現状・課題



- 伝統文化に関わる機会が少ない
- 伝統文化の継承問題
- 富山の文化の魅力が世間に伝わっていない

3 アンケート結果について

期間

2025年8月下旬～9月上旬

対象

委員所属校 8 校 1～3 年生

回答数

576人

3 アンケート結果

＜質問＞あなたがあったらよいと思う文化的なイベントは？

- ★ 学校への吹奏楽などの出張コンサート
- ★ 富山の食文化に触れるフードフェス
- ★ 定期的に演劇などを見られる企画
- ★ 近くの学校と連携して行う企画展 など

3 アンケート結果

＜質問＞あなたが印象に残っている富山県の伝統工芸品は？

管笠 11

高岡銅器 149

井波彫刻 19

高岡漆器 45

庄川挽物生地 6

越中和紙 39

越中瀬戸焼 10

とやま土人形 21

高岡仏壇 59

富山木象嵌 6

富山ガラス 312

4 私たちの目指す姿



- 伝統文化を身近に感じられる社会
- 気軽に伝統文化の体験に参加できる環境
- 職人の技術が継承される仕組みの構築
- 文化と観光がつながり、地域の魅力と経済効果が向上

I 文化的なイベントについて

II 伝統文化の継承について

III 伝統工芸品について

Ⅰ 文化的なイベント

県への提案1

○参加型モザイクアートの作成

- ・ シールには県民の意見を記載
- ・ モザイクアート作成時にブレインストーミングの手法を活用
- ・ 富山県を象徴するイラストを完成する
- ・ 県内の文化施設や公共の場に飾る



Ⅰ 文化的なイベント

県に期待すること

- モザイクアートを制作する場所の確保
- モザイクアートを展示できる設置場所の確保

自分たちにできること

- モザイクアートのイラストの提案
例) 富山県を象徴するもの



II 伝統文化の継承

県への提案2



- ・ 多世代参加型の伝統文化の体験イベント

例：ご当地キャラ×伝統工芸 のワークショップの開催

→若い世代が伝統文化に触れる機会を増やす

II 伝統文化の継承

県への提案2



- 学校教育での
伝統文化を継承するシステムの構築

伝統文化継承のコースやカリキュラムの設置

II 伝統文化の継承

県に期待すること

- ・ イベント開催に向けて、職人や地元企業との連携、SNS等での広報活動
- ・ 学校教育での伝統文化継承のシステム構築



自分たちにできること

- ・ 文化祭や学校行事で工芸紹介コーナーを設ける
- ・ オリジナルキャラクターやグッズの企画



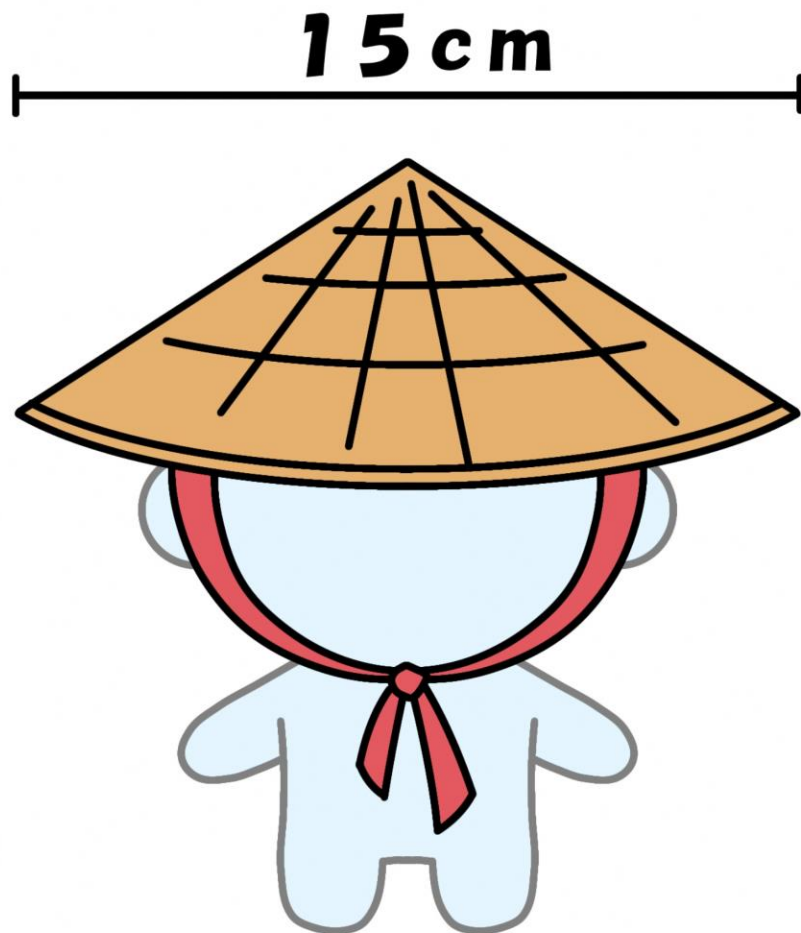
Ⅲ 伝統工芸品を知ってもらうために

県への提案3

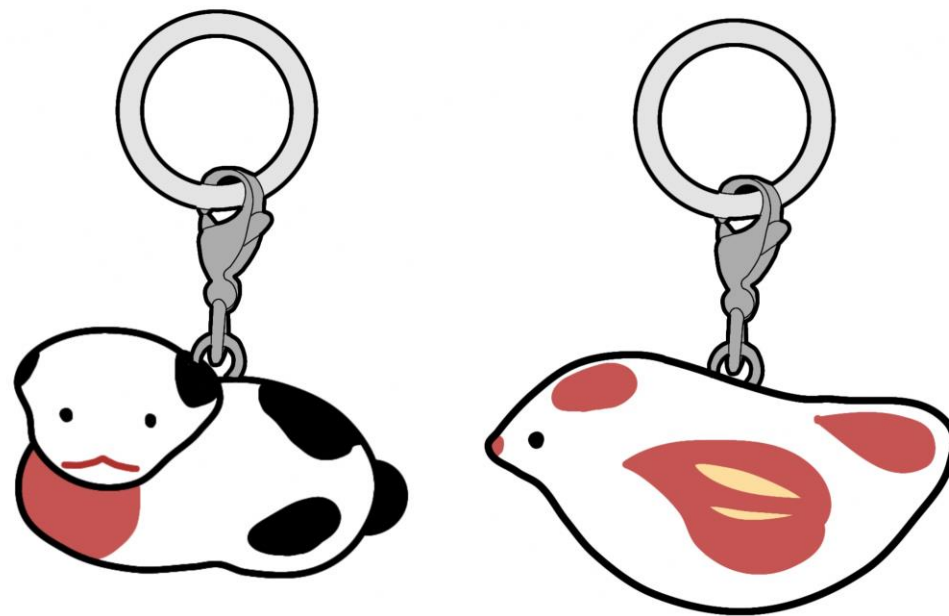
○富山県の伝統工芸品を使ったグッズの開発

- ・ 伝統工芸品の魅力がより広まる
- ・ 若い世代にも伝統文化への関心が高まる

- ・ぬいぐるみ用の菅笠

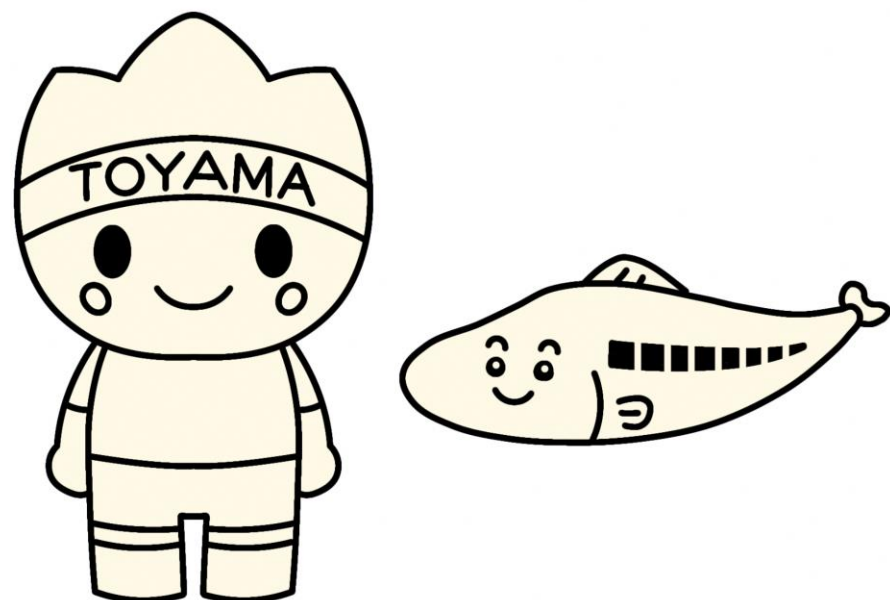


- ・土人形の目印チャーム

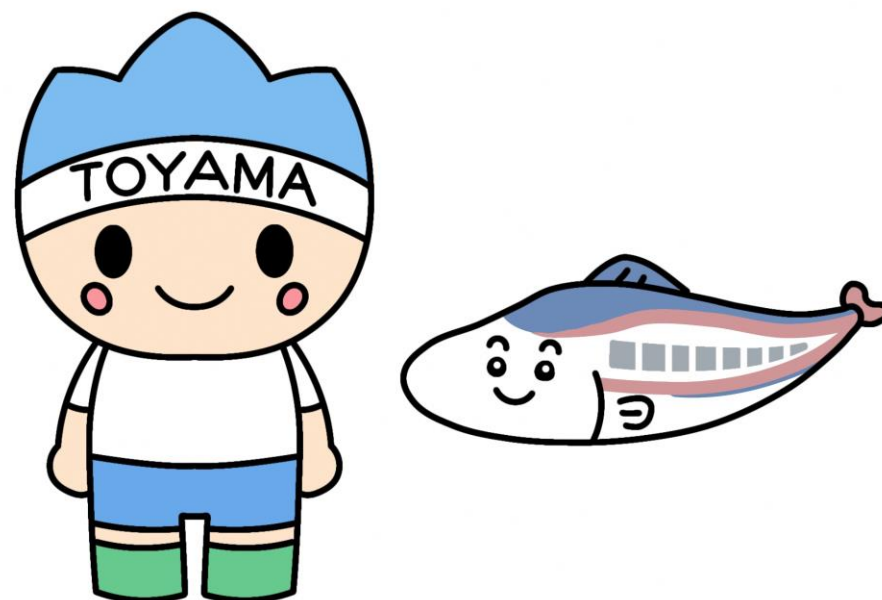


- ・ きときとくんとぶりとくんの絵付けキット

絵付け前



絵付け後



Ⅲ 伝統工芸品等



県に期待すること

- ・ 伝統工芸品のグッズの幅広い販売への協力
グッズをSNSで発信
→県内外の人が気軽に伝統に触れられる機会づくりに

自分たちにできること

- ・ 工芸体験への参加や地元の伝統工芸品について調べ、魅力をSNSなどで発信

7 まとめ

県への提案

- ・ 誰でも参加できる、参加型モザイクアートの作成
- ・ 学校教育での地域の伝統文化継承のシステム構築
- ・ 多世代参加型の伝統文化体験イベントの開催
- ・ 富山県の伝統工芸品を使ったグッズの開発

自分たちに行えること

- ・ 参加型アートのイラスト案の提案
- ・ 文化祭や学校行事で工芸紹介コーナーを設ける
- ・ 伝統工芸等の芸術文化の魅力を広める

芸術文化振興をすすめて、

県民のウェルビーイング向上！

活気あふれる富山県！



ご清聴ありがとうございました

